

龍野高等学校 課題研究Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ 評価用ルーブリック

番号	目標到達度		入学前	課題研究Ⅰ			課題研究Ⅱ	
	評価の基準	レベルの意味	課題研究の質について大幅に改善を要するレベル	課題研究の質についてやや改善を要するレベル	課題研究の質について満足できるレベル	課題研究の質について十分満足できるレベル	難関大学の特色入試等を突破するレベル	
		具体的特徴	探究の手続きが分からず、授業を進められない。	個々の探究の手続きを意識して探究活動を行っている。	個々の探究の手続きを理解して探究活動を行っている。	探究の手続きや一連の流れを理解して探究活動を行っている。	一連の探究の手続きを理解し、省察をしながら探究活動を行っている。	
番号	レベル		1	2	3	4	5	
1	発見力	問題に自ら気づき、仮説を立てる力	ある分野や対象に興味はあるが、問いを見出せず、研究目的もはっきりしない。仮説も立てられない。	興味のある研究テーマの中に問いを見出しているが抽象的で、研究目的を明確にできない。仮説も立てられない。	興味のある研究テーマの中に具体的な問いを見出し、明確な研究目的のもと、仮説を立てて研究に取り組むことができる。	興味のある研究テーマの中に具体的な問いを見出し、明確な研究目的のもと、検証可能な仮説を立てて研究に取り組むことができる。	社会や学問の進展に寄与する研究目的のもと、従来の学説や研究成果を踏まえた検証可能な仮説を立てて研究に取り組むことができる。	
			問い× 研究目的× 仮説×	抽象的な問い○ 研究目的× 仮説×	具体的問い○ 研究目的○ 仮説○	具体的問い○ 研究目的○ 検証可能な仮説○	具体的問い○ 社会や学問の進展に寄与する研究目的○ 学説や研究成果を踏まえた仮説○	
2	試行錯誤力	問題解決のために意欲的・持続的に考え抜く力	探究のそれぞれの過程で、論理や筋道を立てて考えることができず、研究を進める具体的な方法も考えられない。	探究のそれぞれの過程で、論理や筋道を立てて考えることはできるが、研究を進める具体的な方法を調べたり、考えることはできない。	探究のそれぞれの過程で論理や筋道を立てて考えるとともに、研究をさらに深化させる具体的な方法を調べたり考えている。	探究のそれぞれの過程で考えた論理や筋道にしたがって、方法を工夫しながら研究を深化させ、新たな知見を得ている。	探究過程で得られた結果を優れた論理や筋道を立てて考察し、大きな発見に至っている。	
			論理・筋道× 探究方法×	論理・筋道○ 探究方法× 新たな発見×	論理・筋道○ 探究方法○ 新たな発見×	論理・筋道○ 探究方法○ 新たな知見○	論理・筋道○ 探究方法の工夫○ 大きな発見○	
3	検証力	結果を論理的・専門的に分析する力	データの記録にとどまり、合理的なまとめができていない。結果に対する論理的な考察ができていない。	結果の合理的なまとめはできているものの十分なデータを集められてはいない。結果に対する考察も十分な根拠がない。	必要最低限のデータをもとに、結果の合理的なまとめができている。結果に基づく論理的な考察もできている。	得られた結果を合理的にまとめ、再現性や信頼性を確認した上で論理的な考察を行っている。	得られた結果を合理的にまとめ、再現性や信頼性を確認した上で、専門レベルの合理的な解釈により、新たな知見や大きな発見を導いている。	
			結果の合理的なまとめ× 論理的考察×	結果の合理的なまとめ○ 再現性や信頼性の確認× 論理的考察×	結果の合理的なまとめ○ 再現性や信頼性の確認× 論理的考察○	結果の合理的なまとめ○ 再現性や信頼性の確認○ 論理的考察○	結果の合理的なまとめ○ 再現性や信頼性の確認○ 専門レベルの合理的な解釈○	
4	討議力	討議する事で新たな可能性を追求する力	探究内容や方法について、自分の考えや疑問を論理的にまとめ、他者に正しく伝えることができない。	論理的にまとめた自分の考えや疑問を持っているが、他者に正しく伝えることができない。	論理的にまとめた自分の考えや疑問を他者に正しく伝え、意見交換しながら、課題の解決を図ることができる。	論理的にまとめた自分の考えや疑問を他者との討議を通して、研究を深化させることができる。	論理的にまとめた自分の考えや疑問を他者と活発に交換しながら、議論を通して自分の研究を洗練できる。	
			考えを論理的にまとめる× 他者に伝える× 課題の解決を図る×	考えを論理的にまとめる○ 他者に伝える× 課題の解決を図る×	考えを論理的にまとめる○ 他者との意見交換○ 課題の解決を図る○	考えを論理的にまとめる○ 他者との討議○ 研究を深化させる○	考えを論理的にまとめる○ 他者との活発な討議○ 研究の洗練○	